令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：高校教育指導課
担当名：産業教育・キャリア教育担当
内線：6762　　（単位：千円）

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B23	高校生の「農力」育成強化プロジェクト	一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費

事業期間	平成30年度～	根拠法令	産業教育振興法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律	宣言項目	06　次代を担う人財育成
				分野施策	030622　質の高い学校教育の推進

1　事業概要

農業を学ぶ高校生の就農・就業意欲を喚起し、経営感覚や国際感覚、チャレンジ精神を持った農業経営者等となり得る人材を地域に輩出する。

（１）ＧＡＰ教育推進事業　△120千円
（２）地域特産品開発拠点整備事業　△72千円

予算の節約による減額

2　事業主体及び負担区分
（県10/10）

3　地方財政措置の状況
なし

4　事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員
9,500千円×0.4人＝3,800千円

5　事業説明

（１）事業内容
ア　ＧＡＰ教育推進事業　3,600千円
(ｱ)ＧＡＰ実践・認証取得
農業高校８校においてＧＡＰの実践・ＧＡＰ認証の取得に取り組む。
(ｲ)ＧＡＰ教育の推進
生産物を用いた商品開発や6次産業の実践による意識改革と生徒の就農意識の向上につなげる。
また、東京オリンピックに向けて、選手村やホストタウンとの連携の元、生産物の提供を行い、
質の高い農業高校産の野菜の提供をして農業高校の魅力PRにつなげる
イ　地域特産品開発拠点整備事業　792千円
秩父農工科学高校で、埼玉大学等と共同で特許を持つ「第３のみつ」について、実際に地域の養蜂家が使えるようにするため新たな製造技術の開発等に取り組む。

（２）事業計画
ア　ＧＡＰ教育・認証取得
(ｱ)ＧＡＰ認証の取得（R1～R2）
GLOBALG.A.P　熊谷農業(野菜)　杉戸農業(果樹)　S-GAP　農業高校８校
(ｲ)ＧＡＰ教育の推進
ＧＡＰ教育により栽培した農業生産物の販売
オリンピック、ホストタウンへの食材提供、地元企業等との連携による商品開発
イ　地域特産品開発拠点整備事業
「第３のみつ」の製造技術開発・地域特産品の開発販売等(H30～R4)

（３）事業効果
農業高校の魅力向上、将来の農業の担い手となる人材の育成、農業高校による地域への貢献

（４）補正予算の概要
ア、イ　節約による減額

予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額
決定額	△192							△192	4,200
現計額	4,392							4,392	